

解説（北方林業など）

- (1) 小池孝良 (2015) 森林の空間的規制—森林美学の実践方法—, 山林
- (2) 小池孝良 (2014) 森林と環境—森林立地論—への道, 北方林業 66:336
- (3) 小池孝良・佐藤冬樹 (2014) 森林空間機能学演習から—森林科学 1 年目の若者の言—, 北方林業 66: 161
- (4) 小池孝良・高木健太郎・佐藤冬樹 (2014) 森林からのメタン発生—進行する高 CO₂ 環境の影響—, 北方林業 66: 284-287.
- (5) 小池孝良・渡辺 誠・渡辺陽子・船田 良・佐野 雄三・高木健太郎・日浦 勉・笹 賀一郎・佐藤冬樹 (2014) 開放系 CO₂ 増加実験 (FACE : Free Air CO₂ Enrichment) による森林樹木への高濃度 CO₂ の影響評価: 札幌実験苗畑の例 (2002-2013), 北方森林保全技術
- (6) 小池孝良・渡辺 誠・星加康智・玉井 裕・高木健太郎・市川 一・門松昌彦・佐藤冬樹・小池孝良(2015) 対流圏オゾンの森林への影響評価に関する研究概要: 札幌実験苗畑の例, 北方森林保全技術
- (7) 小池孝良・渡辺 誠・生方 信・佐野雄三・市川 一・藤戸永志・上浦達哉・門松昌彦・渡辺陽子・佐藤冬樹(2014) 文科省 SSH プロジェクトへの貢献—札幌実験苗畑の事例—, 北方森林保全技術
- (8) 小池孝良 (2014) 森林保護 :IPM から IBM へ. 北方林業 66: 153-156
- (9) 小池孝良, 毛 巧芝, 渡辺 誠, 星加康智 (2014). 森林研究機関連合(IUFRO-07 関連)集会 : 大気変動環境と森林動態に関する国際会議, 北方林業 66: 40-43.
- (10)小池孝良 (2014) 森林保護 : 侵入種と激害. 北方林業 66: 57-60.
- (11)小池孝良 (2014) 森林保護 : 風害と山火事. 北方林業 66: 89-92.
- (12)小池孝良 (2014) 森林保護 : タネの食害から生態系の保全を考える. 北方林業 66: 121-124.
- (13)小池孝良(2013) フォン・ザーリッシュの森を訪ねて—森林美学の原点を訪ねる旅—, 北方林業 65: 36-39.
- (14)小泉匡平・鎌田直人・小池孝良 (2013)ナラ枯れとカシノナガキクイムシ、北方林業 65:52-55.
- (15) 佐久間 彬, 渡辺 誠, 小池孝良(2013)摩周湖外輪山の衰退地の特徴 : 土壌・植生調査を基礎に. 北方林業 65: 70-72.
- (16)渡辺 誠, 星加康智, 小池孝良(2013)開放系付加施設を利用した異なる時期のオゾン付加に対するウダイカンバの光合成応答, 北方林業 65: 76-79.
- (17)小池孝良 (2013) カンバ類から混交林への景観の推移 : 森林美学の視点. 北方林業 65: 84-86.
- (18)小池孝良(2013)銘木を生む広葉樹 5 種の生産環境、北方林業 65: 109-112
- (19)渡辺 誠 , 小池 孝良(2013) 欧州科学技術協力機構 COST 会議 : 大気環境と森林管理会議, 北方林業、65: 144-147.
- (20)小泉匡平 , 鎌田直人 , 小池孝良(2013) 北海道にナラ枯れは発生するか : 積雪深から見たカシナガの越冬可能性からの考察, 北方林業 65: 205-208.
- (21)小池孝良 (2013) 森林保護 : 菌類の活動と樹体生理 : ナラ類枯損を例に考える. 北方林業 65:
- (22)小池孝良 (2013) 森林保護 : 低温・積雪と森林の成立. 北方林業 65: 249-252.
- (23)小池孝良 (2013) 森林保護 : 更新阻害要因としての病害. 北方林業 65: 281-284.
- (24)王 曉娜・毛 巧芝・甘 炯圭・渡辺 誠・星加康智・小池孝良 (2013) カラマツ属樹木に対する対流圏オゾンの影響評価の現状と課題. 北海道の農業気象, 65: 49-57.
- (25) 小池孝良, 渡辺誠, 渡辺陽子, 江口則和, 高木健太郎, 佐藤冬樹, 船田良 (2013) 植物の高 CO₂ 応答(3) : 高 CO₂ 環境に対する落葉樹の応答, 化学と生物 51: 559-565
- (26) 小池孝良 (2013) 巨樹と樹木医 : 森林美学の視点から (特集 樹木医の軌跡と展望), グリーンエイジ 2014, 12: 40: 16-18.

- (27) 渡辺 誠, 毛 巧芝, 伊森允一, 金 容爽, 来田和人, 小池孝良 (2013) 異なる樹冠位置と窒素負荷に対するグイマツ雑種 F_1 幼木の針葉の光合成応答. 森林遺伝育種, Vol. 2, No. 3, 100-103.
- (28) 渡辺 誠, 来田和人, 渡邊陽子, 北岡 哲, 宇都木 玄, 小池孝良 (2013) 貧栄養条件で栽培したグイマツ雑種 F_1 の高 CO_2 に対する応答. 森林遺伝育種, Vol. 2, No. 1, 13-17
- (29) 小池孝良, 渡辺 誠, 齊藤秀之, 市川 一, 門松昌彦 (2013) ミュンヘン工科大学環境系・森林科学分野との共同研究—札幌研究林・簾舞試験地と実験苗畑のトドマツの成長解析—. 北方森林保全技術, Vol. 31.
- (30) 小池孝良 (2013) 森林保護：枝と幹の病害・腐朽など, 北方林業 65: 25-28.
- (31) 小池孝良(2012) 森林保護の考え方 —基本方向を概観する—, 北方林業 64: 161-164.
- (32) 渡辺 誠・星加康智・小池孝良(2012) 国際会議「気候変動と大気汚染に対する森林の生物学的応答」に参加して、北方林業 64: 366-369
- (33) 小池孝良(2012) 穿孔虫とその仲間、北方林業 64: 345-348
- (34) 小池孝良(2012) 昆虫と植物の生き方の妙、北方林業 64: 281-284.
- (35) 小池孝良(2012) 高 CO_2 環境での被食防衛、北方林業 64: 245-248、
- (36) 小池孝良(2012) 植食者による害と樹木の成長パターン、北方林業 64: 213-216
- (37) 小池孝良(2012) タイワンブナの遺伝的変異 —ミトコンドリア DNA の解析から—、北方林業 64: 197-199
- (38) 川口光倫・渡辺 誠・小池 孝良(2012) 樹木が放出する炭素化合物ガスの役割 —テルペン類に注目して—、北方林業 64: 173-176
- (39) 王曉女那・龍田慎平・渡辺誠・星加康智・小池孝良 (2012) ダケカンバ衰退木と根の活動 —外生菌根菌の役割—、北方林業 64: 170-172.
- (40) 小池孝良(2012) 北限ブナ林の里の魅力とブナ林の今後、北方林業 64:33
- (41) 小池孝良(2012) 北限ブナ林の保存と迫る病虫害、北方林業 64: 52-55.
- (42) 渡辺 誠・龍田慎平・渡邊陽子・齊藤秀之・小池孝良(2011) 摩周湖外輪山のダケカンバの衰退現象. 北方林業 63:33-35
- (43) 小池孝良・北尾光俊・渡辺 誠 (2011) ダケカンバの成長特性—対流圏オゾンによる成長阻害の可能性—北方林業 63:36-38
- (44) 龍田慎平・渡辺 誠・齊藤秀之・小池孝良(2011) 大気浄化実験によるダケカンバとシラカンバ苗木の成長応答—対流圏オゾンによる成長阻害の種間差の検討—. 北方林業 63:39-41
- (45) 小池孝良 (2011) 森林美学における生産基盤の整備—区画整備と林道の意義—. 北方林業 63:46-49
- (46) 青山千穂・小池孝良(2011) カンバ類の防御に関する研究例—育種と防御の関係性—、北海道の林木育種 53: 10-13.
- (47) 伊森允一・佐藤香織・毛 巧芝・Eka Novriyanti・渡辺 誠・小池孝良(2011) 第 23 回国際森林研究機関連合 -IUFRO 世界大会の参加記録— 北方林業 63: 69-72.
- (48) 佐藤香織・小林真・金 容爽・小池孝良(2011) 森林の山火事に関するシンポジウム—第 23 回 IUFRO 世界大会報告—、北方林業 63: 101-104.
- (49) 小池孝良(2011) 森林美学の視点と森林風景の調整—フォレストスケープの実践—、北方林業 63: 105-108.
- (50) 小池孝良(2011) 森林美学における生物多様性の視点—里地里山へのまなざし—、北方林業 63: 133-136.
- (51) 香山雅純・小池孝良(2011) 弟子屈町川湯付近の火山荒原に生育するアカエゾマツ北方林業 63: 149-152.
- (52) 渡辺 誠・Novriyanti,Eka・毛 巧芝・小池孝良(2011) 国際会議「変動環境におけるキノピープロセス」に参加して (ビクトリア州編) 北方林業 63: 153-156

- (53)渡辺 誠・Novriyanti,Eka・毛 巧芝・小池孝良(2011) 国際会議「変動環境におけるキャノピープロセス」に参加して (タスマニア州編) 北方林業 63: 189-192
- (54)小池孝良(2011) 森林の風景整備の視点、北方林業 63: 261-264
- (55)佐久間彬・渡辺誠・小池孝良(2011)摩周湖の森林衰退について考えるー他の地域との比較から見えてくることー、北方林業 63: 310-313.
- (56)小池孝良(2010) 森林美学の源流を訪ねて、北方林業 62: 57-60.
- (57)小池孝良(2010) 森林美学の今日的意義ー「山と木と人の融合」への道ー、北方林業 62: 152-155.
- (58)小池孝良(2010) 森林美学における空間的規制ー自然の模倣と秩序付けー、北方林業 62: 180-183.
- (59)小池孝良(2010) 森林美学における混交林化ー環境変化の影響と対策ー、北方林業 62: 239-242.
- (60)笠 小春・野村 睦・高木健太郎・小池孝良 (2009) 環境変化に対するカラマツ類の応答を探るー研究の動向と今後の方向性ー. 北方林業 61: 32-35.
- (61)日向潔美・渡邊陽子・小池孝良 (2009) 樹木の被食防衛物質の局在. 北方林業 61:100-103.
- (62)末次直樹・小池孝良 (2009) 高 CO₂ 環境が分解系に与える影響ー土壤動物の役割ー、北方林業 61: 149-152.
- (63)矢沢俊悟・小林真・渡邊陽子・佐野雄三・小池孝良 (2009)トドマツ主伐後のハリギリ更新稚幼樹の環境変化に対する応答ー伐採後初年度の事例ー. 北方林業 61(9): 1ー4
- (64)青山千穂・小池孝良(2009) 樹木の誘導防御に関する研究の動向と今後の方向性. 北方林業 61: 217-220
- (65)渡辺 誠, 金 容奭, 幸田秀穂, 小池孝良 (2009) 好氣的条件下におけるアカシアとユーカリの葉からのメタン放出に関する調査, 北方林業, 61: 11-14.
- (66)小池孝良(2008) 変動環境下でのカラマツ類の成長応答. 北海道の林木育種 51: 1ー6
- (67)渡邊陽子・北岡哲・大塚優佳・日向潔美・笹賀一郎・小池孝良(2008) 落葉広葉樹個葉における被食防衛物質の局在と変動環境に対する応答. 樹木医学研究 12:137-138.
- (68)唐木貴行・近藤哲也・渡邊陽子・小池孝良(2008) ニセアカシアの繁殖特性ータネから見た成長特性ー北方林業 60: 221-224.
- (69)江口則和・北岡哲・崔東壽・小池孝良(2008)世界の FACE からー世界各地の開放系大気 CO₂ 増加実験 (Free Air CO₂ Enrichment : FACE) を見学してー. 北方林業 60:
- (70)小池孝良・江口則和・渡辺 誠・渡邊陽子・北岡 哲・里村多香美・高木健太郎・柴田英昭・日浦 勉・笹 賀一郎・船田 良 (2008) RR2002・モジュール FACE 研究の展開ー札幌実験苗畑の利用ー. 北方森林保全技術 26: 47ー52
- (71)渡邊陽子・小池孝良・間宮春大・小池 晶・秋林幸男・常田益代 (2008) 北海道大学構内の遺跡出土材を利用した国際教育への貢献. 北大短期留学生コース(HUSTEP)学生用の先史森林文化教育のためのパネル作成. 北方森林保全技術 26: 31-46
- (72)小池孝良・秋林幸男・間宮春大・菅田定雄・市川一・常田益代(2007) エコキャンパスの植物資源を利用した国際教育への貢献 -北大短期留学生コース(HUSTEP)学生用の樹木ガイド作成-. 北方森林保全技術 25: 71-88.
- (73)小池孝良・斎藤秀之・菅田定雄・市川一・佐藤冬樹(2007) 森林土壌学実習の試みー札幌研究林実験苗畑を利用してー、北方森林保全技術 25:
- (74)小池孝良・秋林幸男・藤戸永司・門松昌彦・山之内誠・野村睦・上浦達哉・笹賀一郎・唐木貴行・小南遼・松並志郎・兼俊壮明・森本淳子・近藤哲也(2007)外来種ニセアカシアの保全管理のための予備試験. 北方森林保全技術 25:
- (75)小池孝良・間宮春大・瀬崎由里子・有倉清美・常田益代・秋林幸男(2006) 北大短期留学生コース(HUSTEP)への貢献ーエコキャンパスの充実のための樹木看板作製-. 北方森林保全技術 24: 61-72.

- (76)小池孝良・江口則和・笹賀一郎 (2005) FACE (開放系大気 CO₂ 増加) を用いた冷温帯落葉樹への高 CO₂ 付加実験. 日本光合成研究会会報 43:8-12.
- (77)Eguchi, N., Koike, T. and Ueda, T. (2005) Free air CO₂ enrichment experiment in Northern Japan. *Vaisala News* 169: 15-16.
- (78)江口則和・上田龍四郎・笹賀一郎・小池孝良(2004) FACE (開放系大気 CO₂ 増加) を用いた落葉樹への高 CO₂ 付加実験. 北方林業 56:4-7.
- (79) 北橋善範・丸山 温・市栄智明・崔 東壽・江口則和・小池孝良(2004) 落葉広葉樹の気孔の形態と水の使い方—都市緑地評価への適用を目指して—. 北方林業 56: 8-11
- (80) 小池孝良・松木佐和子・松本剛史 (2004) 変動環境下での樹木の成長特性と被食防衛機構—食葉性昆虫の活動への応答に注目して—. 樹守 (樹医会北支部) 13 : 6-9
- (81) 丸山 温・小池孝良 (2004) 「新・森林考」これからの森づくりをはじめめるにあたって. 北方林業 56:16
- (82) 小池孝良 (2004) 森林環境資源の修復に向けて. 北方林業 56:17-20
- (83) 小池孝良 (2004) 高 CO₂ 環境で生育した落葉広葉樹の被食防衛、化学と生物 42: 149-151
- (84) 松木佐和子・小池孝良 (2004) 被食防衛の樹種特性を生かした森林保全管理、北方林業 56:185-188.
- (85) 香山雅純・小池孝良(2004) 道央自動車道の樹林地の衰退原因解明と健全性向上に関する管理技術の高度化. 道路と自然 124:30-33.
- (86) 高木健太郎・野村 睦・柴田英昭・笹賀一郎・秋林幸男・佐藤冬樹・小池孝良・福澤加里部・香山雅純・藤沼康実・前林 衛 (2004) 北海道北部針広混交林における皆伐施業が微気象および炭素・水循環に与える影響. 北方林業 56 : 197-200
- (87) 香山雅純・崔 東壽・陳 鉉五・李 忠和・小池孝良(2004) 韓国安山工業団地に植栽されたマツ属 2 樹種の衰退現象と成長反応. 北方林業 56:269-272
- (88) 高木健太郎・江口則和・上田龍四郎・笹賀一郎・小池孝良(2004) 樹木を用いた開放系大気 CO₂ 増加実験(FACE)システムにおける二酸化炭素濃度の制御. 北海道の農業気象 56:9-16
- (89)香山雅純・杉下義幸・菅田定雄・北條 元・野村 睦・秋林幸男・笹賀一郎・小池孝良 (2003) アカエゾマツを利用した蛇紋岩土壌地帯の無立木地からの森林再生. 北方林業 55 : 4-7.
- (90) 香山雅純・小池孝良・丸山 温・坂本泰明 (2003) 道央自動車道の法面緑化樹種の衰退現象と外生菌根菌導入の試み. 北方林業 55 : 60-63.
- (91) 小池孝良・北尾光俊・曲 来葉・香山雅純 (2003) 森林環境修復と冷温帯樹種の根圏活動. 北方林業 55 : 64-67.
- (92) 小池孝良・松木佐和子・山路恵子・松本剛史(2003) 樹木の被食防衛能と食葉性昆虫の活動. 北方林業 55: 206-209.
- (93)笹 賀一郎・小池孝良(2002) 札幌研究林と「ユーラシアの森」見本林計画. 北方林業、54:42-45
- (94)小池孝良(2002) 地球温暖化低減に関わる森林生態系の炭素循環システムの構築に向けて. 技術と経済 428:52-57.
- (95) 小池孝良(2002) 伝えたい匠の技術：森林国フィンランドを例にして, 北方林業 54: 270-273
- (96) 香山雅純・小池孝良(2002) 道央自動車道の法面緑化樹種の共生菌導入による活着促進技術と CO₂ 固定能の評価. 道路と自然 117:28-32.
- (97) 丸山 温・森 茂太・北尾光俊・飛田博順・小池孝良(2002) 施肥がヤナギの光合成特性と成長に与える影響. 森林立地 44:71-75.
- (98)小池孝良 (2001) 熱帯樹木の生理生態的特性と炭素収支. 科学 71 : 1205-1209.
- (99)香山雅純・秋林幸男・アリ・クオレシ・小池孝良 (2001) 樹木の生育に果たす外生菌根 菌の役割—トウヒ属樹木の観察から— 北方林業 53:197-200.

- (100) 小池孝良 (1999) CO₂ 濃度上昇と森林の応答能力研究の動向. 大気環境学会誌 34:A35-A42.
- (101) 小池孝良・笹賀一郎・北尾光俊・丸山 温 (1999) 北方森林における地球環境変化と環境育種の可能性. 北海道の林木育種 42:10-13.
- (102) 小池孝良(1999) 二酸化炭素吸収源としての緑. 道路と自然 102: 9-11.
- (103) 小池孝良 (1998) ミトコンドリア DNA でみるブナ林の歴史. 遺伝 52 : 42-46.
- (104) 小池孝良 (1998) 葉のフェノロジー研究における種間比較の意義. フェノロジー研究 30 : 1-9.
- (105) 小池孝良・森 茂太・松浦陽次郎 (1998) 東シベリアのタイガにおける温暖化影響調査.北方林業 50:241-244.
- (106) 小池孝良 (1997) 樹種の保全生態—森林修復の基礎—. 北方林業 49: 39-42.
- (107) 小池孝良 (1997) 森林の修復と保全への展望. 北方林業 49:66-69.
- (108) 小池孝良(1997) 葉の光合成. 林業技術 663:15-18.
- (109) 小池孝良 (1996) 温暖化環境における樹木の生理生態的反応特性. 東北大学遺生研 I G E、21:77-83.
- (110) 小池孝良 (1996) 外生菌根菌とフタバガキ科樹木の生理生態研究—林木のソース・シンク能研究の立場から—. 森林科学 16: 67-69.
- (111) 小池孝良 (1994) タイガの伐採と湿原のメタン. 動物たちの地球 141: 278-279.
- (112) 小池孝良、Lei, T.T. (1994) 地球環境変化と木本植物のフェノロジー. フェノロジー研究 22: 1-7.
- (113) 小池孝良 (1993) 主要樹種 CO₂ 固定能の意義. 北方林業 45 : 15-18.
- (114) 高橋邦秀、太田誠一、小池孝良、大沢 晃、佐々朋幸 (1993) 東シベリアの森林調査から. 北海道の林木育種 36 : 20-25.
- (115) 太田誠一、小池孝良、大沢 晃、佐々朋幸、高橋邦秀 (1993) シベリア永久凍土地帯のタイガ林調査から. 森林科学 7 : 68-73.
- (116) 小池孝良 (1991) 葉の寿命と樹種の生活の仕方. 北方林業 43 : 323-326.
- (117) 小池孝良・長坂寿俊・岸田昭雄 (1992) 主要樹種の初産齢と成長特性との関係. 北海道の林木育種 34 : 22-28.
- (118) 小池孝良(1991) 落葉広葉樹の光の利用の仕方—光合成特性—, 研究レポート 25:1-8
- (119) 小池孝良 (1990) 欧米における森林の衰退に関する研究の動向 (欧州での研究から). 北方林業 42:205-210.
- (120) 小池孝良 (1990) 欧米における森林の衰退に関する研究の動向 (米国の研究事情とまとめ). 北方林業 42:232-236.
- (121) 小池孝良 (1990) フィンランドの巨大ビニルハウスとカンパ類の育種事情、林木の育種 156:29-33.
- (122) 小池孝良 (1990) 用語を提唱する—Specific Leaf Weight と訳—、日本林学会誌 72 : 255-256.
- (123) 小池孝良 (1988) 落葉広葉樹の生存に必要な明るさとその生長に伴う変化. 林木の育種 148: 19-23.
- (124) 小池孝良、向出弘正、高橋邦秀、藤村好子 (1988)ウダイカンバ若齢人工林における衰退木の特徴. 北方林業 40: 141-144.
- (125) 高橋邦秀・藤村好子・小池孝良・中村梅男 (1988)アカエゾマツの晩霜害. 北方林業 40: 259-263.
- (126) 小池孝良(1987) 落葉広葉樹の光合成と寿命. 北方林業 39: 209-213.
- (127) 小池孝良 (1987) 葉広葉樹の開葉と紅葉の仕方. 北方林業 39: 322-325.
- (128) 小池孝良 (1987) 北海道における落葉広葉樹の光合成研究から. 林木の生長機構 1: 27-34.